

「居心地が良く、使われる公共空間をつくるために」

プレイスメイキングから考えるまちづくり(中間とりまとめ)

世界の多くの都市で、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと、まちを改変する取組が進められています。我が国においても、人の活動を中心とした居心地が良く、使われる公共空間づくりに、国土交通省をはじめ各公的主体の関心が高まっています。

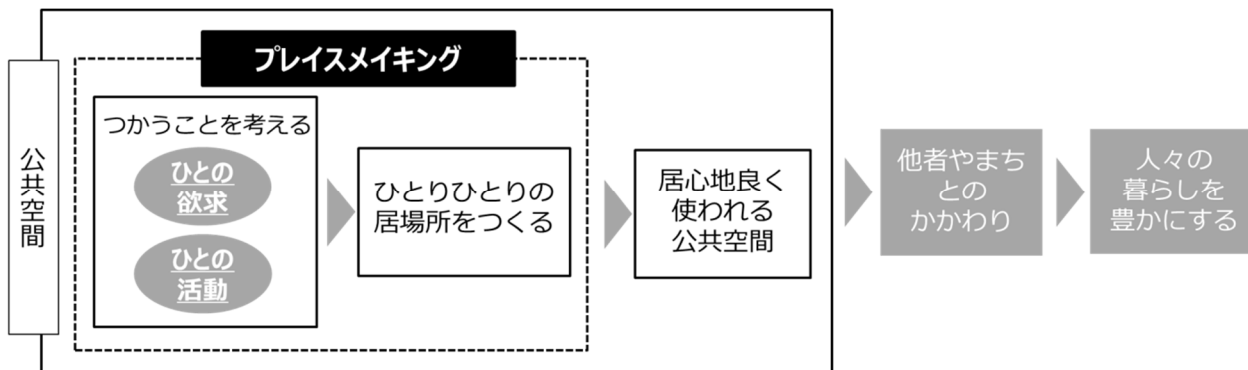
居心地が良く、使われる公共空間をつくることは、公的機関としてまちづくりに取り組む独立行政法人都市再生機構（UR）にとっても、重要なテーマです。

そこで、URでは、プレイスメイキング^{※1}の考えを取り入れた居心地が良く、使われる公共空間をつくる手法を体系的に整理し、まちづくりに活用していくとともに、広く社会にも知見を共有することを目的として、社内プロジェクトチームを組成しました。

今般、この社内プロジェクトチームで、「まちの改善に向けたプレイスメイキング検討会（座長：渡和由 筑波大学芸術系 准教授）^{※2}」の外部有識者から得た意見を踏まえ、公共空間をつくる手法を自ら整理し中間とりまとめを行いましたので公表いたします。

今後とも、実際の取り組みを通じて得られた成果や課題を踏まえて内容を更新し、URのまちづくりに活用していく予定です。

<プレイスメイキングから考えるまちづくり>



※1: ひとの欲求やひとの活動から公共空間のあり方を考え、公共空間にひとりひとりの居場所をつくる手法の一つ

中間とりまとめ(概要版、本冊)及びこれまでの検討会資料は、下記URLからご覧ください。

<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/placemaking/machiindex.html>

【問い合わせ先】

本社 技術・コスト管理部 企画課	(電話)045-650-0651
本社 アセット戦略推進部 地域づくり支援課	(電話)045-650-0492
本社 総務部 広報室(報道担当)	(電話)045-650-0887

※2: 「まちの改善に向けたプレイスメイキング検討会」平成30年3月～平成31年3月まで全7回開催

座長: 渡和由 筑波大学芸術系 准教授

委員: 中島直人(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授)、波瀨郁代(株式会社JTB総合研究所 執行役員企画調査部長)、温井達也(株式会社プレイスメイキング研究所 代表取締役)、本木陽一(一般社団法人場所文化フォーラム 専務理事)、中山靖史(UR都市機構東日本都市再生本部 事業企画部長)